

令和3年度 第1回牧之原市図書館協議会会議録

- 1 開催日時 令和3年8月20日(金) 午後2時～午後3時40分
- 2 開催場所 牧之原市立図書交流館 いこっと 交流・談話スペース
- 3 出席者
- 【牧之原市図書館協議会委員】(2名欠席)

鈴木 善彦
水嶋 みゆき
大石 武晴
杉本 公恵
佐藤 寛
鈴木 亜弓

【事務局】(1名欠席)

教育文化部長	内山 卓也
牧之原市立図書館長	杉村 明彦
社会教育課図書係係長	増田 茂美
社会教育課図書係総括主任	元木 香代
社会教育課図書係総括主任	水野 秀信
社会教育課会計年度任用職員	芹澤 芳里

- 4 傍聴者 1名

5 議題

【報告事項】

- (1) 令和2年度の実績について
- (2) 開館後の利用状況等について

【協議事項】

- (1) 図書館基本計画の進捗について

- 6 内容(要点記録)

【報告事項】

- (1) 令和2年度の実績について
- (2) 開館後の利用状況等について

◎事務局説明要旨

- ・令和2年度の事業実績について説明。新型コロナウイルスの図書館における感染対策として、セルフ貸出機の導入等を行った。
- ・令和3年度の7月末時点の利用状況を説明。相良図書館に比べ図書交流館の利用が大幅に伸びているだけでなく、移動図書館の利用も増えている。
- ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため図書館の対応を説明。
- ・開館後、利用者から受けた意見や要望について説明。

◎委員からの主な意見

- (意見) 館内で飲み物をこぼして本を汚損しないか心配。実際に開館して現状どうか。
- (市回答) この四か月間で、机にこぼしてしまったとの申し出が1件あった。すぐ拭いたため資料等に被害はなかった。利用者にはマナーよく使ってもらっている。
- (意見) 子供と利用した際に照明が暗く、本が探しづらかった。
- (市回答) 照明は民間と一体化した雰囲気の中で最大限照度を上げている。照明の向きを変えることで調整できないか検討したい。
- (意見) 検索機の使い方がわかりにくいことや、館内の音が気になってしまった。
- (市回答) 案内表示を出しているが、さらにわかりやすい表示をし、職員への声かけを呼びかける案内等を検討する。
- (意見) 図書交流館の周りの店も活気が出てきているように感じるが、周辺店舗の売り上げが伸びたなどという声はあるのか。
- (市回答) 売上については把握していないが、ボルダリングの登録者が増えたと聞いている。ミルキーウェイ駐車場も満車になる日があり、人の動きはあると捉えている。
- (意見) 榛原高校生との意見交換した時、図書交流館は知っていても来たことがないという意見が出た。交通の問題があり、バスの停留所を近くにできたらよいと思う。
- (市回答) バス停は近くにはあるが、交流館に立ち寄るには少し遠い位置だと感じている。今回の意見があったことをバス会社にも伝えていきたい。また、今回欠席の委員から類似の意見があり、学校と交流館をつなぐシャトルバスなどできないだろうか。車以外の手段を考えてもらいたい、との意見があった。
- (意見) 榛原地区の市民に、図書交流館に来てもらうことも重要だが、榛原図書館も同じように充実した場所が欲しいという声がある。
- (市回答) 榛原文化センターの老朽化問題もあり、前年度までの検討で拡充が可能なの

か、検証をしていく。拡充するなら再来年度の設計の予算化を目指す。学校の再編計画も検討しており、学校との連携も含めて進めていきたい。

(意見) 館内はオープンで入りやすく、読み聞かせのカーペットもよく活用されている。父が子供を連れ、大型絵本を楽しむ姿を見かける。

(意見) 図書交流館で行っているイベントで、ウォーリーを探して楽しそうだった。

(意見) 職員の見回り時は話していないが、学習室のおしゃべりが気になる。また、子供が走る音や、子供をとがめる母の音がうるさく感じる。利用者マナーをどう定着させていくのか。

(市回答) 来館しにくい雰囲気は作りたくないが、利用するにあたって大切なことを教えていく、理解し定着できるような表示・声かけをしていきたい。

(意見) 職員のみなさんの対応の良さが評価されている。特に、こんなことを聞いてもいいかな、と思うことでも丁寧に対応してくれるとのこと。

(意見) 居心地のよさ、温かさを感じるとともに、マナーも尊重されるバランスが重要である。親切な対応という職員の姿勢は市民に伝わり始めており、他方で、館内でのマナーの定着も考えてほしい。

(意見) 夏休み中、図書館に通って調べ物をした。その際は雰囲気がよく、落ち着いて滞在できると感じた。朝時間に余裕のある人やビジネスマン向けに、開館時間を早くしたり、閉館時間を遅くしたりしてもらえるとありがたい。開館後一年くらい様子を見てからまた検討してほしい。

(市回答) 利用者の利便性を考え、スーパーが混み合う時間に図書館も開いている形でスタートした。今後、入館者数や利用者の意見を取り入れながら検討したい。

(意見) 榛原図書館の外テラスについて利用状況を知りたい。

(市回答) 文化センター中庭の人工芝にテーブルと椅子を設置していたが、現在は椅子を下げている。使われ方等、今後も調査をしていく。

(意見) 他市(愛知県田原市)図書館を見学した時に、利用者が買いたい本を図書館に設置したポストに用紙を入れて、書店とつなぐサービスをしていた。図書館がベストセラー本を揃えることで書店の売上が下がるという懸念もあり、書店との協同も考えてほしい。

(市回答) 図書館だけでなく書店を支えることで、市民の文化を支えることになる。取り組みとして検討したい。

(意見) 移動図書館のステーションについて、要望があればステーションは増えるか。

(市回答) 年度途中で切り替えは難しいが、巡回コースは要望を踏まえて検討をしているので、意見を出していただければと思う。

【協議事項】

(1) 図書館基本計画の進捗について

◎事務局説明要旨

- ・ 牧之原市立図書館基本計画で「暮らしを支える専門サービス」「であいを創る交流・憩いの場」「あなたと図書館をつなぐネットワーク」の3本柱を軸に整備する。相良図書館の拡充は図書交流館の開館により、先行して多くの項目の実施が進んでいる。

◎委員からの主な意見

- (意見)「交流」という点において、非常に大きな成果をもってスタートできた。「資料の充実」と「専門職員の設置」も進められているが、継続的・持続的に取り組んでもらいたい。
- (市回答)本を借りる目的以外にも来館する人が増えたが、来館者数増加に対応するだけの資料の充実は今後も必要であると考えている。
- (意見) 想定以上の来館者数となっているので、職員数も確保して欲しい。
- (市回答) 開館当初は苦労も見られたが、現在では窓口対応等も習熟が見られる。想定以上の来館者ではあるが、それが業務量の増加には直接比例せず、職員の少なさから利用者へ迷惑をかけた事例は現在のところはないと考えている。最低限の人員数であるので休暇等も取得できるようにしていきたい。
- (意見) 図書交流館の状況から、図書館の充実により町の活気が生まれ利用者も多くなることが証明されたと思う。榛原図書館の拡充も早急に行って欲しい。
- (意見) 移動図書館の蔵書の古さが気になる。においや茶色のシミなどが多い。
- (市回答) 休館中に表紙の消毒を行ったが、経年劣化している本も多い。図書交流館や榛原図書館の本を「展示本」として移動図書館に載せることで移動図書館で利用者へ新鮮な情報を届けられるようにしていきたい。
- (意見) 開館準備作業に参加した学生が、それだけで終わらずにオープンスペースで演奏会をするなど、継続的に関わるとよい。新型コロナウイルスの影響で部活動の外部発表の機会が減り、活躍できる場所求めている。
- (意見) 高校生が図書館を活用した意見交換の試みがよかった(地域リーダー育成プロジェクト)。各世代の図書館ボランティア活動をはじめとする市民との共同の図書館づくりが、具現化している点が評価できる。この協力体制はこれからも継続してもらいたい。

以上